

田上 時子のエッセイ

ビデオドック を

解散しました

1988年9月に帰国。3ヵ月後に東京埼玉連続殺人事件(別宮崎事件)が起こった。翌年5月、宮崎逮捕に至るまでの報道を目にしなが
ら、早急に子どもへの性的虐待防止策を打ち出す必要があると、当時北米で地味だが息長くベストセラーだった『わたしのからだよ!』の翻訳企画案を大手出版社に持って行った。「日本ではこの種の本はまだ5年早い」と断られ「そんなバカな。5年なんか待ってられない」と自費出版を覚悟で発行元に名付けたのが「ビデオドック」だった。

ビデオドック(video doc.)はvideo documentary(記録ビデオ)の略で、記録ビデオ制作なら、プロとして会社を興す自信があったからだ
が、世間からはビデオ修理屋(doctor)と思われたのか「ビデオを直してください!」と電話があったのが今は懐かしい。

暴力防止の提言や人材育成に関心があったが、人権問題を扱うのだから行政の予算が投入されるべきで、それには法人格を持つ必要があるとビデオドックを有限会社にしたのが1994年。以来、CAPもスター・ペアレンティングも非暴力も性の健康教育もすべて有限会社ビデオドックの事業として開催した。

1995年1月の阪神淡路大震災をきっかけに特定非営利活動促進法が施行され、NPOで法人格取得が可能になったのを機に、ビデオドックの非営利事業を一括してNPO法人女性と子どものエンパワメント関西の傘下にしたのが2000年4月である。その時にはすでにビデオ制作や出版事業の営利事業はほぼ皆無の状態だったので、事実上ビデオドックは赤字会社だったが、時間も
なく決心もつかず、やっと解散手続きを始動したのは昨年末で、今年3月末に無事に清算結了となった。

「静かに健やかに遠くまで」とは故城山三郎氏の箴言集のタイトルだが、「静かに健やかに」活動する、を信条にしてきたので、ビデオドックの幕も解散通知なしで静かに閉めるつもりだったが、当NPO法人の会員はほとんどがビデオドックからの長いお付き合いのご厚意に感謝の意を込めて、巻頭エッセイの場を借りてお知らせさせていただく。

ありがとうございました!

引き続き「エン関」をお願いします。

感謝!

NPO法人 女性と子どものエンパワメント関西

事務所が開いている時間は… 月曜日～金曜日 9:30～16:30 土・日・祝は休みです。

TEL 0797-71-0810 FAX 0797-74-1888 E-mail:videodoc@osk2.3web.ne.jp